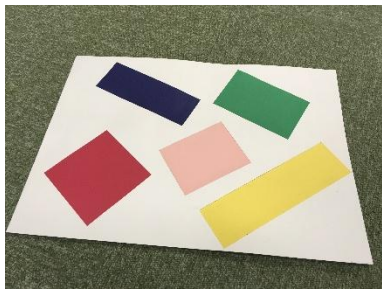


オープンプラン4年算数  
「面積のはかり方と表し方」  
～マッキー何本立つ？～

4年生の、  
面積のはかり方と表し方では、  
四角形の面積を求める公式を学習します。



ここに5つの四角形があります。  
それぞれ、  
マッキーはどれだけ立てられますか？



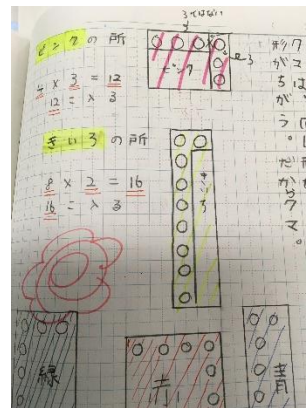
「マッキーの本数が足りないよ！」  
「1箱8本しかないよ？」  
そのような中…  
「赤16本！」  
「8本でもわかるよ！」  
なぜ8本で、  
16本のマッキーが立つとわかるのでしょうか？

「並べ方を工夫するんだよ」



「こう、カクッとね」  
よく見ると皆カクッとさせて並べています。  
カクッとさせるといいことがあるの？  
1から順番に並べていた子どもたちからも、  
歓声があがりました。  
「ああっ」「できるできる！」

「かけ算をつかうんだよ」  
掛け算を使うとは？？



「8個並んでいる列が2列あるから  
これは8×2で16本だよ」  
「たての個数とよこの列をかければいいんだよ」

何本立つかの順位が出ました。  
赤に16本、黄色に16本、緑に15本、  
青に12本、ピンクに12本  
「同じ本数だ…」

「でもなんか、同じ 16 本でもビミョーな隙間があるよね…」



同じ本数並んでいる四角形は、  
同じ広さなのではないか？  
「同じだよ！」 「いや同じじゃないよ！」

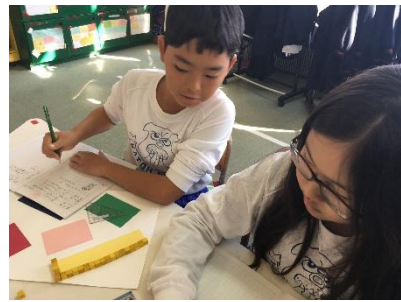
次の時間、  
もっと細かく測ってみることになりました。  
今日は皆が広さを測るための、  
たくさんの道具を持ってきました。



おはじき、お花、くまちゃん、キューブ、おかね  
どれを並べたら細かくはかれそう？

「僕キューブにしたい」  
「私もキューブがいいです」  
「キューブがいいです」…  
ほとんどの子どもがキューブを指差します。  
キューブが大人気。キューブの何がいの？  
「直角だからぴったりはまる！」  
「平行だから並べやすい！」  
「一番小さいから細かくはかれる！」

キューブではかることにしました。



「キューブの並べ方も、  
カクッとさせれば楽だね」  
カクッとさせて並べていきます。  
まっすぐにするのに、定規を使ったり…



「あれ？このキューブ…もしかして…  
1cm？」



「並べなくても何個はいるかわかるじゃん！！」

オープンプラン4年生では、  
クラスのすべての子どもが、  
自分の言葉で説明できるように、  
丁寧に活動の段階を踏んでいます。

そのために、  
子ども一人一人の考えを、  
少しずつ広めながら気づきを増やすための、  
具体操作活動を行っています。